



湘南色の異端児

E217系 東海道線

E217系は元々横須賀線・総武快速線用の車両として登場しましたが、東海道線の113系を置き換える目的で平成17年（2005）に3編成が転用されました。横須賀・総武快速線と東海道線では編成組成が異なるため、11+4両から10+5両への組成替えが行われ、連結器などの改造を施工した上で運転を開始しました。その後は平成20～24年（2008～2012）にかけて行われた機器更新を経て平成27年（2015）まで運転され、以降は元の横須賀線・総武快速線に復帰しました。

◆今回製品は15両フル編成をすぐにお楽しみいただけるセット構成になります。10・11号車の先頭部のカプラーがフックなし密連カプラー＋電連に変更のほか、「新橋～神戸間全通120周年」ヘッドマークと「横浜～国府津間開業120周年」ヘッドマークを行先表示シールに収録予定です。

東海道線
近郊形電車
の歴史



1962

111系・113系



1986

211系（国鉄仕様・JR仕様）



2004

E231系近郊形



2006

E217系東海道線



2008

E233系近郊形

N

E217系 東海道線

10-1643 15両セット【特別企画品】